

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)の運用状況

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)

追加型投信/国内/株式

2021年2月10日

- ★ 当ファンドは、2月5日に第12期の決算を迎えました。
- ★ 本レポートでは、第12期(2020年8月6日～2021年2月5日)の投資環境や運用状況、今後の運用方針、ならびに当ファンドの銘柄選別の視点についてご報告いたします。

1. 第12期の基準価額と収益分配金の状況

第12期末の基準価額は前期末の9,729円から11,201円に上昇し、収益分配金400円(税引前)を含めた上昇率は19.2%(当ファンドの参考指数であるTOPIXは、同期間21.6%上昇)となりました。

基準価額の主な変動要因はウエストホールディングス、ミンカブ・ジ・インフォノイド、ファンケルなどが基準価額にプラスに寄与した一方、日本新薬、セリア、NECネットエスアイなどが基準価額にマイナスに影響しました。

期末の収益分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり400円(税引前)とさせていただきます。

2. 第12期の国内株式市場の動向

第12期の国内株式市場は、堅調な展開となりました。米大統領選挙への不透明感が強まった10月下旬や、米国の個人投資家を中心とした投機的な売買の活発化により市場参加者のリスク回避姿勢が強まった1月下旬には、一時的に株価が弱含む場面も見られました。しかし、世界主要国の中央銀行が積極的な資金供給を続ける中、日本では4-6月期を底にして景気や企業業績が回復局面入りしたことから、株式市場は上昇基調で推移しました。特に、11月以降は米大統領選挙の結果を受けて政治リスクが後退したことや、ワクチンの実用化に目途が立ったことを受けて、株式市場は大きく上昇する展開となりました[図表1]。

3. 第12期の運用経過

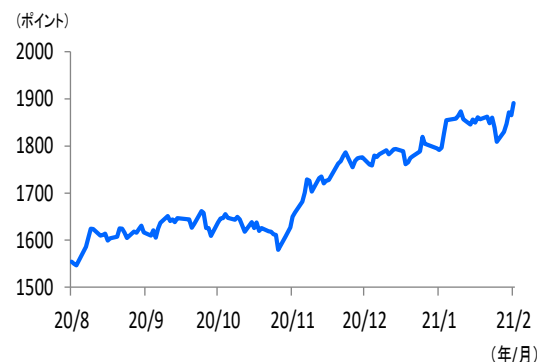
ボトムアップによるファンダメンタルズ調査に基づく銘柄選別に加えて、マクロ環境やマーケット動向の変化に応じて、銘柄の入れ替えを行いました。

12月下旬頃までは、新型コロナウイルスの感染再拡大による経済活動の再規制への懸念が高まっていたことから、新型コロナウイルスによる業績への悪影響が相対的に少ないと考えられる銘柄を中心としたポートフォリオでの運用を行いました。特に、コロナ禍によるライフスタイルの変化により構造的に需要が拡大していくと考えられるゲーム株やIT関連株などへの積極的な投資を行いました。

1月初旬以降は、国内で緊急事態宣言が再発令されたことや、ワクチンの供給開始に目途が立ったことで、新型コロナウイルスの感染再拡大に対する懸念が今後ピークアウトすると考え、IT関連株の一部利益確定売りを行い、経済活動の正常化により業績や収益性の改善が期待される機械株や素材株への入れ替えを行いました[図表2]。

こうした投資行動の結果、ポートフォリオの業種別組入比率を前期末比でみると、機械、化学などが増加し、情報・通信業、電気機器などが減少しました[図表3]。

(図表1) TOPIX(東証株価指数)の推移



(期間) 2020年8月5日～2021年2月5日、日次

(出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

(図表2) 主な売買銘柄

買付銘柄	売却銘柄
ファーストリテイリング	メディアド
住友ベークライト	バリューコマース
日本通運	セリア
第一三共	NECネットエスアイ
三菱ケミカルホールディングス	TDK
S MC	ジンスホールディングス
堀場製作所	JCRファーマ
ミスミグループ本社	アセンテック
三菱瓦斯化学	日本新薬
キリンホールディングス	ファンケル

(期間) 2020年8月6日～2021年2月5日

※ 上記で紹介した銘柄は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません

(図表3) 組入上位5業種の前期末比

順位	業種名	2020/8/5	2021/2/5	変化幅
1	情報・通信業	21.52%	14.61%	-6.91%
2	機械	5.23%	11.50%	6.27%
3	化学	7.94%	11.21%	3.27%
4	電気機器	13.41%	10.41%	-3.00%
5	医薬品	8.19%	7.85%	-0.35%

(注) 変化幅は、四捨五入の関係で一致しない場合があります

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信／国内／株式**

4. 今後の投資環境見通し

今後の国内株式市場は上昇する展開を想定しています。足元では国内の新型コロナウイルスの感染再拡大による緊急事態宣言の再発令により、景気の先行きに対する不透明感が強まっているものの、欧米を中心にワクチンの接種が開始されるなど、コロナ収束に向けた動きは着実に進んでおり、**今後は経済活動の正常化による業績回復への期待が高まる局面に移行すると想定しています。**株価の下支え要因になっている各主要国中央銀行の積極的な金融緩和政策は、当面は維持される見通しで、需給面においても良好な環境が続くことが想定されます。

(図表4) 環境要因による成長例

- ・世界的な景気変動
- ・政策や法律の変化
- ・ **市場の成長性**
- ・季節変動、天候自然災害
- ・一時的流行

5. 市場の成長性と競争力の優位性に着目した銘柄選別の視点

企業が成長する要因は、企業を取り巻く環境の変化によって成長する環境要因と、企業の経営戦略の成果によって成長する個社要因に分けることができると考えています。

当ファンドでは、環境要因において特に重要であると考えている市場の成長性と、個社要因による成長の源泉である企業競争力の優位性の両方に着目した銘柄選別を行うことで、中長期的に高い成長が継続すると考えられる成長株を選別しています。

(図表5) 個社要因による成長例

競争優位性 (源泉)



- ・ビジネス領域の拡大
- ・新規顧客の獲得
- ・製品の販売拡大
- ・製品価格の変化
- ・生産性の向上

環境要因：市場の成長性

環境要因は、企業を取り巻く環境の変化によっておこる成長で、世界的な景気変動、政策や法律の変更などの様々な要因があります[図表4]。特に、その会社がビジネスを展開している**市場の成長性**はその会社が中長期にわたって成長できるかを判断する重要な要素であると考えています。成熟した市場において成長を続けるには他社からシェアを奪う必要があり、業界全体として過当な競争に陥りやすく、安定した利益を稼ぎにくい傾向があります。一方、成長市場では市場全体の売上自体が伸びているため、シェアを維持できれば、持続的な成長を続けることができ、企業にとってより成長しやすい環境であると言えます。

(図表6) 注目市場と注目組入銘柄

当ファンドでは、現在、今後も持続的な成長が続く市場として、**半導体市場、ヘルスケア市場、FA(工場の自動化)市場を、成長性の高い有望な市場として注目しています。**

個社要因：競争力の優位性

個社要因は、企業の経営戦略の成果によっておこる成長であり、ビジネス領域の拡大、新規顧客の獲得、製品の販売拡大などの要因があります[図表5]。これらの個社要因の成長を生み出す源泉になるのが**企業競争力の優位性**です。他社が模倣できない、しにくい競争力の優位性を有する企業は、競争力の優位性を利用して、シェアの拡大やグローバル展開などの成長のために積極的な経営戦略を取りやすく、高い成長力を有している企業が多く見受けられます。また、シェア争いや価格競争などの他社との競争に陥ることも少ないため、持続的かつ安定的な成長を続けることが可能であると考えています。**特に、成長性の高い市場において、競争力の優位性を有している企業は、今後の成長に対する実現性が高いと考えられる企業が多く、当ファンドにおいても積極的な組入れを行っています[図表6]。**

半導体市場	
組入銘柄	住友バークライト
注目点	デリケートな半導体を湿気や衝撃から保護する半導体封止材の需要拡大
ヘルスケア市場	
組入銘柄	第一三共
注目点	高い有効性を有するがん治療薬のグローバルでの販売拡大
FA(工場の自動化)市場	
組入銘柄	S M C
注目点	工場の自動化におけるキーパーツである空圧機器市場において世界No.1シェア

(出所) 各種資料より岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信/国内/株式

運用状況 (作成基準日: 2021年2月5日)

設定来の基準価額の推移



- ※ 基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
- ※ 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。
- ※ 分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
- ※ グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドの状況

基準価額	11,201円
純資産総額	1,993,215,241円
実質株式組入比率	95.5%
うち国内株式	95.5%
うち先物	0.0%
組入銘柄数	51銘柄

分配金実績

設定来累計	3,300円
-------	--------

※ 分配金は1万口当たり(税引前)です。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	情報・通信業	14.6 %
2	機械	11.5 %
3	化学	11.2 %
4	電気機器	10.4 %
5	医薬品	7.8 %
6	サービス業	6.2 %
7	小売業	5.6 %
8	卸売業	5.5 %
9	精密機器	4.5 %
10	金属製品	4.1 %

組入上位10銘柄

順位	銘柄コード	銘柄名	構成比
1	9983	ファーストリテイリング	4.2 %
2	4203	住友ベークライト	3.7 %
3	9062	日本通運	3.4 %
4	4568	第一三共	3.4 %
5	4188	三菱ケミカルホールディングス	3.4 %
6	4587	ペプチドリーム	3.3 %
7	6273	SMC	3.2 %
8	6856	堀場製作所	2.8 %
9	9962	ミスミグループ本社	2.6 %
10	7725	インターアクション	2.6 %

市場・規模別構成比

市場・規模別	構成比
東証1部大型株	16.6 %
東証1部中型株	36.3 %
東証1部小型株	32.6 %
東証2部	0.0 %
ジャスダック	3.4 %
東証マザーズ	6.5 %
その他市場	0.0 %

- ※ 業種、銘柄、市場・規模別の各構成比は、いずれも当ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ※ 市場・規模別構成比は四捨五入して表示しておりますので、上記、株式組入比率の合計値と一致しないことがあります。

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星) ファンドの特色



- 日本の成長が期待される企業の株式※へ投資を行います。
※日本の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式を主要投資対象とします。
- 成長企業の選別にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を重視します。なお、新興市場の株式に積極的に投資することがあります。
- 銘柄の選定にあたっては、ボトムアップ・アプローチを基本とし、バリュエーション、業績の変化、イノベーション等に注目します。
- 株式の組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資環境や市況動向に対応し投資信託財産の純資産総額の0%から100%の範囲で機動的に変更する場合があります。なお、株式の実質組入比率の引き下げを目的として、株価指数先物取引を行う場合があります。

(作成: 運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信/国内/株式

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.3%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.694%（税抜1.54%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.011%（税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
藍澤証券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
臼木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
篠山証券株式会社	近畿財務局長(金商)第16号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
新大垣証券株式会社	東海財務局長(金商)第11号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
長野証券株式会社	関東財務局長(金商)第125号	○			
南都まほろば証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
西村証券株式会社	近畿財務局長(金商)第26号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
リーディング証券株式会社	関東財務局長(金商)第78号	○			

<本資料に関するお問い合わせ先>
フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)